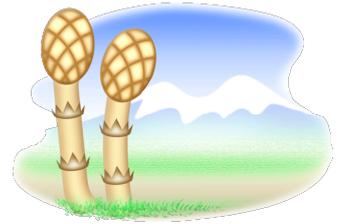


とことこ通信



山陽小野田こども発達支援センター「とことこ」2021年3月発行

春を実感・・・年度末を迎えます。

新型コロナに見舞われたこの一年。いまだ収束の道筋が見通せない中、ワクチン接種の開始により、一筋の光明が差し込んできたように思われますが、気分が落ち込むことも多い年度末です。それでも自然に目を向けると、例年と変わりなく四季の営み、生命の息吹が感じられます。草木の芽の膨らみ、鳥たちのさえずり・・・季節は巡り「とことこ」の子どもたちとともに、少しずつ歩みを進めています。

3月5日は、二十四節気のひとつ「啓蟄」です。“冬ごもりをしていた生物たちが動き始める時期”という意味です。雨が降るごとに暖かくなり少しずつ春を実感できるようになります。

「とことこ」の次年度は、開設当初に計画した業務全般の3年計画の最終年にあたり、2年間の実績、振り返り、より良い療育計画の作成を経て、これからの「とことこ」の療育活動の充実、発展をめざして日々、献身的に取り組んでいくつもりです。ご支援、ご鞭撻の程どうぞよろしくお願いいたします。



<早期発見 早期支援 早期療育>

三つの要素を基に子どもの成長を支えていきます。一人ひとりが主役です。

ゆっくり、とことこ・・・



節分行事



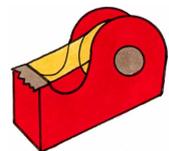
鬼は～外！！



怖～い・・・



鬼退治の
豆を入れる箱を
つくりました！



節分給食&おやつ

